

| | | | | | | | | |
|---|---|------|----------|---|-------------|----------|------------|----|
| 授業科目 | 保育実践の理解と方法（CD クラス） | | | | 単位 | 1 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | 幼二種免 保育士 | | ナンバリング | CH31402J | | |
| 開講年次 | 2年 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP2-1 DP4-2 | | | |
| 担当教員 | 河瀬 洋美 | | | | | | | |
| 授業概要 | 保育の基本的な考え方、幼児期における子どもの発達と保育者の援助・指導方法について、様々な事例をもとに考えていく。一人ひとりの子どもを捉える視点や、子ども理解と指導・援助のありかたを学び、保育を実践する基盤を培う。 | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | 1 各年齢の特質に合わせた保育指導方法の基本的な考え方を身につける 2 実践記録をもとに様々な保育者の指導方法を学び、自身で実践するための思考力を身に付ける 3 子どもを深く理解しようとする態度を持ち、また、学生相互に考えをだしあう姿勢や態度を身に付ける | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 50 | 0 | 30 | 20 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | 30 | | 30 | | 60 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-2) | | | 20 | | 10 | 10 | 40 | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 子どもの行動や言葉をもとに、他者と意見交換をしながら、その子どもの中にある気持ちを深く推察し、理解に至るための意識や態度、姿勢を持つことができる。また、子どもの生育をめぐる人間関係や自らの保育指導に対する認識を深め、どのような保育実践を行うことが必要か考え出すことができる。 | | | | 子どもの行動や言葉をもとに、その子どもの中にある気持ちを推察し、家族を含む背景を理解しようとする態度や姿勢を持つことができる。また、提示された保育実践の記録から、そのポイントを自分なりに見つけ出し、今後の実践の参考にすることができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | | | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | | 予習・復習時間(分) | |

| | | | | |
|----|--|--------------------------|--|----|
| 1 | テーマ:オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。 | シラバスを用いてオリエンテーションを行う | 講義内容を振り返る | 30 |
| 2 | テーマ:3歳児の特質と指導の要点① 3歳児の特質を確認し、3歳児なりの理解のあり方や認識・行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。幼稚園・保育所・認定こども園など施設や事業について。 | 実践記録等プリント配布 レポート1 | 復習:3歳児の特質を理解する 予習:配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考えてくる | 30 |
| 3 | テーマ:3歳児の特質と指導の要点② 健康と安全 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 | 実践記録について学生相互に意見を出し合いまとめる | 意見交換の内容を整理する | 30 |
| 4 | テーマ:4歳児の特質と指導の要点① 4歳児の特質を確認し、4歳児なりの理解のあり方や認識・行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 | 実践記録等プリント配布 レポート2 | 復習:4歳児の特質を理解する 予習:配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考えてくる | 30 |
| 5 | テーマ:4歳児の特質と指導の要点② 食育とアレルギー 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 | 実践記録について学生相互に意見を出し合いまとめる | 意見交換の内容を整理する | 30 |
| 6 | テーマ:5歳児の特質と指導の要点① 職員集団と情報の伝達 5歳児の特質を確認し、5歳児なりの理解のあり方や認識・行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 | 実践記録等プリント配布 レポート3 | 復習:5歳児の特質を理解する 予習:配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考えてくる | 30 |
| 7 | テーマ:5歳児の特質と指導の要点② 保育と記録 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 | 実践記録について学生相互に意見を出し合いまとめる | 意見交換の内容を整理する | 30 |
| 8 | テーマ:0歳児の特質と指導の要点 生命の保持と情緒の安定 0,1歳児の特質を確認し、0,1歳児なりの理解のあり方や認識・行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 | 実践記録等プリント配布 | 復習:0,1歳児の特質を理解する 予習:配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考えてくる | 30 |
| 9 | テーマ:1歳児の特質と指導の要点 保護者との連携 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 | 実践記録について学生相互に意見を出し合いまとめる | 意見交換の内容を整理する | 30 |
| 10 | テーマ:2歳児の特質と指導の要点① 相談援助 2歳児の特質を確認し、2歳児なりの理解のあり方や認識・行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 | 実践記録等プリント配布 レポート4 | 復習:2歳児の特質を理解する 予習:配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考えてくる | 30 |
| 11 | テーマ:2歳児の特質と指導の要点② 研修と資質の向上 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 | 実践記録について学生相互に意見を出し合いまとめる | 意見交換の内容を整理する | 30 |
| 12 | テーマ:子ども理解と保育方法① 特に配慮を要する子どもや援助の在り方 配慮を要する子どもとは?子どもの個性のとらえ方を考える。 | 実践記録等ワークシート配布 | 復習:ワークシートの記入についてグループで補足、訂正したものを検討し充実したものにする | 30 |
| 13 | テーマ:子ども理解と保育方法② 障害児保育のための環境整備について」 実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認す | 実践記録等ワークシート配布 ミニレポート5 | 意見交換の内容を振り返る | 30 |

| | | | | |
|-----------------------|--|--------------------------|--|----|
| | る。また、求められる保育の手立てを考える。 | | | |
| 14 | テーマ:子ども理解と保育方法③ 保育と環境 環境構成の在り方について、実践記録をもとに指導の要点を考える | 実践記録等ワークシート配布 | 意見交換の内容を振り返る 予習:これまでの授業内容を振り返り自分なりにまとめる | 30 |
| 15 | テーマ:まとめ この授業のまとめを行う。 | 授業のまとめを行い、振り返りのレポートを作成する | 講義内容を振り返る | 30 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 年齢別の発達を理解し、自分なりのかかわり方を考える これまで行った実習での子どもの様子や保育者の指導の様子、方法などを振り返る | | | |
| テキスト | なし 必要に応じてプリントを配布する ファイリングして授業ノートを作る | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 子ども保育総合研究所「よくわかる保育原理」ミネルヴァ書房 日本保育学会編「保育学講座」 北九州市・北九州市保育士会「ともにそだつ」 全国社会福祉協議会 保育の友(月刊) 北九州市児童福祉施設第三者事業評価基準(保育所編) | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 年齢別の発達や実践事例を通し、子ども達に向き合う態度や気持ち、その背景にある人間関係(保護者、地域、職員集団等)が理解できる保育士、幼稚園教諭になってほしいと願っている 周りの人の考えと自分の考えをすり合わせながら、違う意見も取り入れ、自分なりの判断をする力を身に付ける、子どもたち一人一人を大切に思い、それぞれに応じた指導方法を探る姿勢等を大切にしたい | | | |

| | |
|---------------|--|
| 達成度評価に関するコメント | レポートやワークシートなど、課題として提示したものを評価する。 記述内容と合わせて、提出の遅延や乱雑な扱い、規定文字量に満たないものは減点とする。 |
|---------------|--|